

「イコマニア」とは？

生駒市長 小紫雅史

1

生駒市のビジョン

**みんなで創る、
日本一楽しく住みやすいまち「生駒」**



新しい住宅都市を創るためには
「協創」が必要

2

「協創」とは何か

▶ 市職員、市民、事業者、NPO、市民団体、学識経験者などが、信頼関係に基づいて協力し、具体的な成果を創り出すこと。

- ▶ 単なる「協働」ではない
- ▶ 小さなことでも具体的な形にすること
- ▶ 市民等が一步踏み出した時、市職員がそれにしっかり気付き、自らも一步踏み出す関係

3

社会の変化

- 人口減少・少子高齢化など社会構造の急速な変化
 - 市民ニーズの多様化
 - 地方分権の進展 → 自治体間競争の激化
 - NPO法人、非営利型一般社団法人、SB等新しい公共の活性化
 - リタイア層の地域デビュー、専業主婦層の労働意欲
 - 学生等による社会参加、自立的な動き
- 行政だけでは対応が難しい

市民力のポテンシャルは
今まで以上に上がっている！



多様化する課題に様々な主体を巻き込みつつ
地域独自の取組で対応していくことが必要！

4

「イコマニア」とは？

生駒を愛する市民の皆様と市が、協働で行う多くの楽しい公共・公益イベントを「イコマニア」と認定し、積極的なPR実施を通じて、地元「いこま」を盛り上げていく



「イコマニア」は、今の生駒の課題を解決する一つの切り札になりうる

5

生駒が抱える課題

- ①エンターテインメントが少ない
- ②市外・県外での消費が多く、市内消費率が低い。地元の事業者の活性化が不十分。
- ③「協創」のために市民参画をさらに進めていく必要

6

課題に対する「イコマニア」の効果

- ①身近に楽しいイベントが増え、気軽に参加しやすくなる
- ②生駒がにぎわい、地元消費・地元事業者の支援につながる
- ③イベントへの参加や企画を通して、女性の創業支援や市民団体の活動が活発になり、さらにはまちづくりのリーダーが生まれる

7

こま市



8

つなげてあそぼうプラレール



9

いこまどんどこまつり



10

100円商店街



11

自主学习グループフェスタ



12

地域デビューガイダンス



13

まとめ

「みんなで創る
楽しく住みやすいまち、いこま」

の実現のためには、

「イコマニア」の取組が不可欠

ご協力よろしくをお願いします

14